

住む人に誇りを、訪れる人に感動を



世界文化遺産

長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産

学校教育用補助教材(五島市用)



旧五輪教会堂(久賀島の集落)



江上天主堂(奈留島の江上集落)



久賀島の集落



奈留島の江上集落
(江上天主堂とその周辺)

名前

2020年3月発行
企画・制作/「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会
電話番号:095-894-3171
協力:長崎大学教育学部附属小学校
撮影協力:池田勉、日暮雄一

平成31年度文化庁文化芸術振興費補助金(文化遺産総合活用推進事業)

世界遺産って何だろう？

世界遺産は、世界中の人々が過去から受けつぎ、守って、未来へと伝えていかなければならない、とても大切な文化財(文化遺産)や自然(自然遺産)のことです。世界中の人々が、おたがいの国のくらしや文化を知り尊重することで、人権尊重や世界平和が実現することを期待されています。

2018年、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、長崎のたからものから日本のたからものへ、そして世界の大切なたからものとなりました。

久賀島と江上集落の人たちの残したものが世界中の人々にとってもたからものになったんだよ！
すごいね！



世界遺産のいろいろ

世界遺産は、「文化遺産」「自然遺産」「複合遺産」の3種類に分けられます。「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、「文化遺産」で登録されました。世界には、1,121件の世界遺産が登録されています。(2019年現在)

日本には「文化遺産」と「自然遺産」が合わせて23件あります。

文化遺産

昔の人が生活していた跡や古い建物など、人間が作ったもの。
869件(うち日本19件)



① ラパ・ヌイ国立公園 (チリ)



② 自由の女神像 (アメリカ合衆国)



③ バチカン市国 (バチカン市国)



④ メンフィスとその墓地遺跡 (エジプト)

自然遺産

絶滅の恐れのある生き物が住んでいる場所や美しい風景など、自然のもの。

213件(うち日本4件)



⑤ ガラパゴス諸島 (エクアドル)



⑥ サガルマータ国立公園 (ネパール)



⑦ 四川ジャイアントパンダ保護区群(中国)



⑧ グレート・バリア・リーフ (オーストラリア)

複合遺産

「文化遺産」と「自然遺産」をあわせたもの。

39件(うち日本0件)



⑨ カンペチェ州カラクムルの古代マヤ文明と熱帯保護林 (メキシコ)



⑩ マチュ・ピチュの歴史保護区 (ペルー)



⑪ ギョレメ国立公園とカッパドキアの岩窟群 (トルコ)



⑫ ウルル=カタ・ジュタ国立公園 (オーストラリア)



日本にある世界遺産

日本には23件の世界遺産があります。姫路城や原爆ドーム、富士山などの「文化遺産」が18件、屋久島や知床などの「自然遺産」が4件あります。「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、日本で22番目に登録された世界遺産です。



1 法隆寺地域の仏教建造物 (1993年)



2 姫路城 (1993年) 提供:姫路市



3 屋久島 (1993年)



4 白神山地 (1993年)



5 古都京都の文化財 (1994年)



6 白川郷・五箇山の合掌造り集落 (1995年)



7 原爆ドーム (1996年)



8 厳島神社 (1996年)



9 古都奈良の文化財 (1998年)



10 日光の社寺 (1999年)



11 琉球王国のグスク及び関連遺産群 (2000年)



12 紀伊山地の霊場と参詣道 (2004年)



17 富士山は「自然遺産」ではなくて「文化遺産」なんだよ。



13 知床 (2005年)



14 石見銀山遺跡とその文化的景観 (2007年)



15 小笠原諸島 (2011年)



16 平泉 一仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群 (2011年)



17 富士山ー信仰の対象と芸術の源泉ー (2013年)



18 富岡製糸場と絹産業遺産群 (2014年)



19 明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業 (2015年)



20 国立西洋美術館 (ル・コルビュジェの建築作品 一近代建築運動への顕著な貢献一) (2016年)



21 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 (2017年)



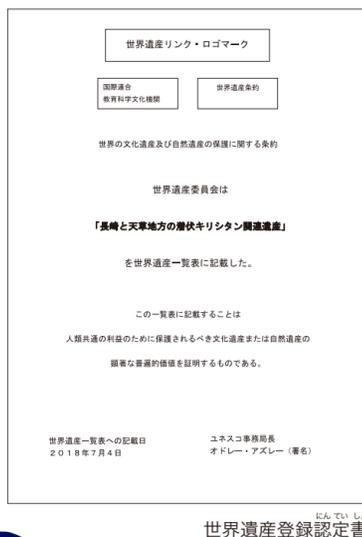
22 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産 (2018年)



23 百舌鳥・古市古墳群 (2019年)

世界遺産になるまでの歩み

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を世界遺産に登録してほしいと、日本からユネスコ(国際連合教育科学文化機関)へ申しこみました。すると、こんどはユネスコから頼まれたイコモス(国際記念物遺跡会議)の人が長崎と天草にやってきて、その内容をくわしく調べました。その結果、イコモスの人は、この遺産が世界遺産にふさわしいとユネスコに伝え、最後にユネスコが世界遺産に登録することを決めました。



世界遺産になるためのルール

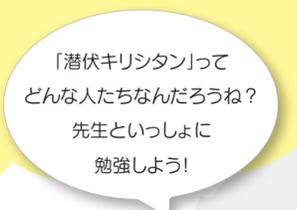
「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を世界遺産としてみとめてもらうためにはとてもきびしいルールがあって、この遺産を守っていくための約束をしなければいけません。この遺産が持っている素晴らしい文化や環境を守って、未来へ伝えていくための計画をあらかじめ作り、約束を守ることにしています。

わたしたちは、このような約束によって、この遺産を未来へと守り伝えていくことになったのです。



「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」って何だろう？

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、日本でキリスト教を信じてはいけなかった時代に、ふつうに生活しながら工夫して信じつづけた人たち(潜伏キリシタン)が残した証です。日本に神父がいない中で、かれらがどのようにしてキリスト教の教えを守り続けたのかをひとつのお城の跡とひとつの教会、10の集落が表わしています。



「長崎と天草地方の 潜伏キリシタン関連遺産」物語

1

昔々、日本の各地にはお殿様がいて、人々は、神社やお寺などでお祈りをしながら、くらしていました。



フランシスコ・ザビエル

2

ポルトガルからフランシスコ・ザビエル神父が日本にやってきて、キリスト教を日本に初めて伝えました。

長崎と天草地方では、平戸に最初にやってきたんだよ。

フランシスコ・ザビエルの
平戸までのルート



3

神父がたくさんやって来て、キリスト教といっしょに、お殿様に鉄砲やお金もうけなどを教えたり、病気の人を治したり、貧しい人に食べ物をあたえたりしたため、日本中に教えが広まりました。

このころ、

キリスト教を信じて教会でお祈りした人を「キリシタン」というんだ。五島にキリスト教が伝わったのは、宇久純定というお殿様が、自分の病気を治すために、お医者さんでもあった神父を呼んだのが始まりだよ。純定の子どもの純義と玄雅はキリシタンになったんだよ。



宇久純定

玄雅の後にお殿様になった五島盛利が、キリスト教を禁止して神父を追い出したから五島にはキリシタンがいなくなってしまったんだよ。



徳川家康

4

日本で一番えらいお殿様であった徳川家康が自分のいうことをきかせるためにキリスト教を禁止し、昔のように神社やお寺などでお祈りをするように命令しました。

長崎の「出島」でだけ、それもキリスト教と関係のない外国とだけおつきあいをすることにしたんだよ。

集落のえらい人が、神父のかわりとなって見つからないように、工夫しながらキリスト教の教えを守り続けた人を「潜伏キリシタン」というんだよ。平戸②③、天草④、外海(出津⑤、大野⑥)にいたことが分かっているんだ。

5

キリスト教の禁止とお殿様のひどい政治に怒ったキリシタンたちが戦争をおこしました。(島原・天草一揆)

天草四郎という少年が総大将になって2万数千人ものキリシタンが原城①にたてこもって戦って殺されたんだよ。



天草四郎

6

キリシタンが恐ろしくなったお殿様は、神父が日本に入ってくないように港をとじてしまいました。



出島

7

日本には神父がいなくなり、教会もなくなりました。そして、長崎と天草地方のキリシタンは、「潜伏キリシタン」となりました。



マリア観音

次ページに続く

前ページからおよそ150年後...

8

外海で人口が増えすぎて暮らしにくくなったので、潜伏キリシタンは、五島などに引っ越していきました。

外海から海をわたって、人がまだあまり住んでいなかった島でキリスト教の教えを守りながら暮らしたんだよ。黒島⁷、野崎島⁸、頭ヶ島⁹、久賀島¹⁰に引っ越したことが分かっているんだ。



9

それから50年くらいたつと、日本はまた色々な外国とのおつきあいを始めました。長崎の「大浦」というところに、外国の人々が住む町をつくりました。

10

大浦天主堂に神父がいることをきつけた浦上村の潜伏キリシタンが、プティジャン神父に自分たちがキリスト教の教えを守り続けてきたことを話しました(信徒発見)。そして、潜伏キリシタンは、他の村からもやってきましたが、日本ではキリスト教が禁止されていたので、つかまってしまいました。

久賀島では、せまい牢屋にたくさんの人がとじこめられて、なくなった人もいたんだよ。

外国人のために大浦天主堂¹²を建てたんだよ。



大浦天主堂 プティジャン神父

11

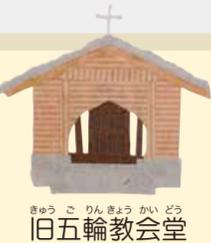
外国の人たちが日本に注意したこともあって、日本でもキリスト教を信じるできるようになりました。

潜伏キリシタンは、230年ぶりに教会でお祈りをするようになったんだよ。



12

キリスト教を信じている人たちの村では、神父と協力しながら教会を建てました。



旧五輪教会堂

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産



1 原城跡

キリシタンたちが戦争を起こしたお城の跡地



2 平戸の聖地と集落(春日集落と安満岳)

キリスト教が伝わる前から信じていた山やキリシタンがなくなった島などを拝んだ集落



3 平戸の聖地と集落(中江ノ島)



4 天草の崎津集落

身近なものなどを拝んだ集落



5 外海の出津集落

キリスト教の絵などを拝んだ集落



6 外海の大野集落

神社などを拝んだ集落



7 黒島の集落

馬を育てていた場所に引っ越した集落



8 野崎島の集落

神社があった場所に引っ越した集落の跡地



9 頭ヶ島の集落

病気の人ばかりが住んでいた場所に引っ越した集落



10 久賀島の集落

開発が進んでいなかった場所に引っ越した集落



11 奈留島の江上集落

(江上天主堂とその周辺) 教会が建てられた集落の代表例



12 大浦天主堂

潜伏キリシタンと神父がおよそ200年ぶりにあった教会

奈留島の江上天主堂¹¹が代表例だよ。鉄川與助が建てたんだよ。久賀島には旧五輪教会堂なども建てられたよ。



ごとうし 五島市の地図

五島にはキリスト教に
関係するものがたくさんあるね。
読み方が分からない漢字は先生に聞いてみよう。
見学する時は、神父様や信徒の皆さんに
迷惑をかけないように
マナーを守ろうね。



教会堂の見学マナー

- 室内では帽子を脱いで、静かに見学しよう。
- 室内にある物にはふれないようにしよう。
- 室内では食べたり、飲んだりしないようにしよう。



楠原半屋跡(現在)



楠原半屋(過去)



楠原教会堂

楠原半屋跡

楠原は、潜伏キリシタンが外海から最初に引越してきた場所の一つです。久賀島でキリシタンがせまい牢屋につかまった後、楠原のキリシタンも牢屋に閉じ込められてしまいました。日本でキリスト教を信じていることができるようになった後の1914年、牢屋があった場所にレンガ造りの教会堂が建てられました。



堂崎教会堂の外観



堂崎教会堂の内観



永里(えいり)集落のマリア観音

堂崎教会堂

マルマン神父が堂崎に小さな木造の教会堂を建てた後の1907年、ペルー神父は、赤レンガ造りの現在の教会堂に建て替えました。ヨーロッパの典型的な造り方をしている、1974年に長崎県の重要文化財に指定されました。現在は、キリスト教が禁止されていた頃に拝まれていたマリア観音などの重要な資料が展示されています。

ひさかじま しゅうらく 久賀島の集落



おおびらき しゅうらく 大開集落

お寺や神社でお祈りしていた人々と潜伏キリシタンたちが一緒に田んぼや畑を作りながら暮らしていた集落です。潜伏キリシタンたちは、普通に生活しながら、ひっそりとキリスト教のお祈りを続けました。



ごりん しゅうらく 五輪集落

大開集落とはちがって、お寺や神社でお祈りをしていた人とは遠く離れた場所で潜伏キリシタンたちが暮らしていた集落です。潜伏キリシタンたちは、ひっそりと暮らしながらキリスト教のお祈りを続けました。五輪墓地には、キリスト教が禁止されていた頃のお墓とキリスト教を信じているようになった後のお墓があります。

潜伏キリシタンのお墓



旧五輪教会堂の外観



旧五輪教会堂の内観



現在、お祈りに使われている五輪教会堂

きゅうごりん きょうかい どうら 旧五輪教会堂

旧五輪教会堂は、初代の浜脇教会堂を解体して建て直したものです。その後、旧五輪教会堂は古くなったので、1985年に新しく五輪教会堂が建てられました。しかし、建物はそのまま残され、1999年に国の指定文化財に指定されました。



みやうの せうじゆ けうち 牢屋の窄殉教地

「信徒発見」(9ページの10)の後、久賀島の潜伏キリシタンもキリスト教の教えを守り続けていることを話したために、つかまってしまいました。せまい牢屋に200人くらいが押し込まれ、体の弱いお年寄りや子どもたち42人がなくなりました。



初代浜脇教会堂跡



初代浜脇教会堂(過去)



現在の浜脇教会堂

しよだい はまわき きょうかい どうら 初代浜脇教会堂跡

キリスト教を信じているようになった後の1881年、久賀島で最初の教会堂である初代の浜脇教会堂が建てられました。その後、1931年に鉄筋コンクリートを使って現在の浜脇教会堂が建てられました。その時、初代の浜脇教会堂は解体されて五輪集落で建て直されました。初代の浜脇教会堂が建っていた場所には、信徒たちが集まるための建物が建てられています。

なるしま えがみ しゅうらく 奈留島の江上集落(江上天主堂とその周辺)



えがみ しゅうらく 江上集落

江上集落は、お寺や神社でお祈りをしていた人たちが暮らす集落とは離れた場所にあります。潜伏キリシタンの4家族が小さな平地を耕しながら家を立てて暮らし始めました。

江上天主堂は、1918年、キヒナゴを売って稼いだお金を使って建てられました。風が強く、じめじめしている場所だったので、屋根の下に風の通り道を作ったり、床を高くして水から建物を遠ざけたりするなどの工夫をしました。江上天主堂を建てたのは日本人大工の鉄川與助です。小さいながらも完成度の高い木造の建物として、2008年に国の重要文化財に指定されました。

江上天主堂の周りには、教会堂を建てた時に作った石畳の水路や石垣が残っています。



てつかわ よすけ
鉄川與助



江上天主堂の中は、履物を脱ぐという日本の習慣に合わせた造りになっています。柱や窓ガラスなどには、信徒たちが木目や花柄の模様を手書きしています。